



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年1月31日

上場取引所 東 福

上場会社名 株式会社ゼンリン

コード番号 9474 URL <https://www.zenrin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高山 善司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレート本部長 (氏名) 戸島 由美子 TEL 093-882-9050

四半期報告書提出予定日 2023年2月1日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|------|---|------|---|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 40,210 | 0.6 | △851 | - | △643 | - | 180 | △91.3 |
| 2022年3月期第3四半期 | 39,990 | - | 61 | - | 321 | - | 2,067 | - |

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 △1,870百万円 (-%) 2022年3月期第3四半期 8,113百万円 (-%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-----------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第3四半期 | 3.34 | 2.75 |
| 2022年3月期第3四半期 | 37.79 | 35.55 |

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2023年3月期第3四半期 | 70,309 | 44,902 | 63.7 |
| 2022年3月期 | 79,164 | 48,746 | 61.3 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 44,778百万円 2022年3月期 48,500百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | - | 12.50 | - | 13.50 | 26.00 |
| 2023年3月期 | - | 13.50 | - | | |
| 2023年3月期（予想） | | | | 13.50 | 27.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-----|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 60,500 | 2.4 | 3,000 | 12.3 | 3,200 | 5.1 | 2,600 | △28.9 | 48.16 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2023年3月期3Q | 57,301,365株 | 2022年3月期 | 57,301,365株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期3Q | 3,543,033株 | 2022年3月期 | 3,094,610株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 2023年3月期3Q | 53,986,274株 | 2022年3月期3Q | 54,713,728株 |

(注) 期末自己株式数には、「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-E S O P)」の信託財産として(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式(2023年3月期3Q 304,095株、2022年3月期 317,530株)が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期3Q 310,642株、2022年3月期3Q 323,888株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は2023年2月1日(水)に当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

| | |
|-------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (四半期連結損益計算書) | |
| (第3四半期連結累計期間) | 5 |
| (四半期連結包括利益計算書) | |
| (第3四半期連結累計期間) | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) | 7 |
| (会計方針の変更) | 7 |
| 3. 補足情報 | 8 |
| 中長期経営計画 (ZGP25) で区分した各事業の販売実績 | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大があったものの、行動制限の緩和等により社会経済活動の持ち直しの動きがみられました。一方で、世界的な半導体供給不足の継続、エネルギー・原材料価格の高騰や急激な円安などによる物価上昇に加え、長期金利の上昇懸念など先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような環境の中、売上高はオートモーティブ関連において自動車の生産調整の影響等でカーナビゲーション用データの販売が第2四半期までの傾向と同様に減少したものの、IoT関連やマーケティングソリューション関連において受託案件等が増加いたしました。

費用面では、売上高の構成変化による売上原価の増加や位置情報の精度向上に係る地図データベース整備費用などが増加いたしました。加えて、社会経済活動の正常化やエネルギー・原材料価格の高騰などにより営業費用は増加いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高40,210百万円（前年同期比220百万円増加、0.6%増）、営業損失851百万円（前年同期比913百万円悪化）、経常損失643百万円（前年同期比965百万円悪化）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、固定資産売却益や子会社出資金売却益等を特別利益に計上したことなどにより180百万円（前年同期比1,887百万円減少、91.3%減）となりました。

なお、親会社株主に帰属する四半期純利益が前年同期に比べ減少した理由といたしましては、前年同期に投資有価証券売却益等を特別利益に計上したことなどによるものであります。

従来より、当社グループの売上高は、季節的変動が著しく、第4四半期連結会計期間に売上が集中する傾向にあります。

当社グループの報告セグメントは単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、季節的変動等の影響により受取手形、売掛金及び契約資産が、時価評価により投資有価証券がそれぞれ減少したことなどから70,309百万円（前連結会計年度末比8,854百万円減少、11.2%減）となりました。

負債は、季節的変動等の影響により買掛金が減少したほか、短期借入金や未払法人税等がそれぞれ減少したことなどから25,406百万円（前連結会計年度末比5,010百万円減少、16.5%減）となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したものの、剰余金の配当、時価評価によるその他有価証券評価差額金の減少などにより44,902百万円（前連結会計年度末比3,843百万円減少、7.9%減）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は63.7%（前連結会計年度末比2.4ポイント上昇）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、世界的な半導体供給不足による自動車の生産調整など、当社グループを取り巻く環境に不確定な要素が多いことから、2022年4月28日に公表いたしました業績予想を据え置くことといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 16,857 | 14,460 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 12,593 | 8,676 |
| 電子記録債権 | 106 | 193 |
| 有価証券 | 5 | 7 |
| 商品及び製品 | 962 | 874 |
| 仕掛品 | 272 | 1,045 |
| 原材料及び貯蔵品 | 109 | 93 |
| その他 | 1,363 | 1,667 |
| 貸倒引当金 | △4 | △3 |
| 流動資産合計 | 32,267 | 27,014 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 13,194 | 13,156 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 278 | 284 |
| ソフトウェア | 9,958 | 11,152 |
| その他 | 3,871 | 2,567 |
| 無形固定資産合計 | 14,108 | 14,003 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 12,339 | 10,026 |
| その他 | 7,358 | 6,209 |
| 貸倒引当金 | △105 | △101 |
| 投資その他の資産合計 | 19,593 | 16,134 |
| 固定資産合計 | 46,896 | 43,294 |
| 資産合計 | 79,164 | 70,309 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,153 | 1,994 |
| 短期借入金 | 2,066 | 889 |
| 1年内償還予定の社債 | 8,047 | 8,011 |
| 未払法人税等 | 1,153 | 441 |
| 役員賞与引当金 | 124 | 31 |
| 資産除去債務 | 10 | — |
| その他 | 13,781 | 12,842 |
| 流動負債合計 | 28,337 | 24,210 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 18 | 30 |
| 役員退職慰労引当金 | 128 | 104 |
| 役員株式給付引当金 | 50 | 39 |
| 退職給付に係る負債 | 281 | 271 |
| 資産除去債務 | 67 | 67 |
| その他 | 1,532 | 683 |
| 固定負債合計 | 2,079 | 1,196 |
| 負債合計 | 30,417 | 25,406 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,557 | 6,557 |
| 資本剰余金 | 12,484 | 12,451 |
| 利益剰余金 | 26,084 | 24,799 |
| 自己株式 | △4,062 | △4,478 |
| 株主資本合計 | 41,064 | 39,330 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 6,306 | 4,504 |
| 為替換算調整勘定 | 155 | 222 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 973 | 721 |
| その他の包括利益累計額合計 | 7,435 | 5,448 |
| 非支配株主持分 | 246 | 123 |
| 純資産合計 | 48,746 | 44,902 |
| 負債純資産合計 | 79,164 | 70,309 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 39,990 | 40,210 |
| 売上原価 | 24,137 | 25,006 |
| 売上総利益 | 15,852 | 15,204 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 人件費 | 9,297 | 9,443 |
| 役員賞与引当金繰入額 | 25 | 32 |
| 退職給付費用 | 223 | 200 |
| 貸倒引当金繰入額 | — | 2 |
| その他 | 6,245 | 6,376 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 15,791 | 16,056 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 61 | △851 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 6 | 4 |
| 受取配当金 | 60 | 82 |
| その他 | 288 | 247 |
| 営業外収益合計 | 355 | 334 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6 | 7 |
| 控除対象外消費税等 | — | 92 |
| 為替差損 | 69 | — |
| その他 | 19 | 25 |
| 営業外費用合計 | 95 | 126 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 321 | △643 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | 893 |
| 子会社出資金売却益 | — | 436 |
| その他 | 2,494 | 365 |
| 特別利益合計 | 2,495 | 1,695 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 154 | 25 |
| 減損損失 | 19 | 13 |
| 投資有価証券評価損 | 1 | 391 |
| 子会社整理損 | — | 212 |
| 特別損失合計 | 176 | 643 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,640 | 408 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 538 | 611 |
| 法人税等調整額 | 78 | △319 |
| 法人税等合計 | 617 | 292 |
| 四半期純利益 | 2,023 | 116 |
| 非支配株主に帰属する四半期純損失(△) | △44 | △63 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 2,067 | 180 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 2,023 | 116 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,997 | △1,802 |
| 為替換算調整勘定 | 118 | 66 |
| 退職給付に係る調整額 | △25 | △252 |
| その他の包括利益合計 | 6,090 | △1,987 |
| 四半期包括利益 | 8,113 | △1,870 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 8,158 | △1,806 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | △44 | △63 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、前連結会計年度において、当社の連結子会社でありましたZENRIN USA, INC. は、2022年1月1日付で当社の連結子会社であるAbalta Technologies, Inc. に吸収合併されたため、第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

また、当社の連結子会社でありました上海大計数据处理公司是、当社の連結子会社である㈱ダイケイが2022年12月23日付で全ての出資持分を売却したことに伴い、当第3四半期連結会計期間において、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. 補足情報

中長期経営計画（ZGP25）で区分した各事業の販売実績

| （事業区分） | 2022年3月期 第3四半期 連結累計期間 （百万円） | 2023年3月期 第3四半期 連結累計期間 （百万円） | 増減額 （百万円） | 増減率 （%） | 主要な製品 |
|----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------|------------|--|
| プロダクト事業 | 11,714 | 11,570 | △144 | △1.2 | 企業・一般消費者向け 住宅地図帳、ブルーマップ、 GISパッケージ、住宅地図データ、 企画地図、マップデザインブランド商品 |
| 公共ソリューション 事業 | 4,159 | 4,156 | △2 | △0.1 | 中央省庁・地方自治体向け 住宅地図帳、ブルーマップ、 住宅地図データ |
| マーケティング ソリューション事業 | 4,286 | 4,648 | 362 | 8.4 | マーケティングソリューションの提供、 一般商業印刷 |
| IoT事業 | 9,433 | 10,059 | 625 | 6.6 | スマートフォン向けサービス、 インターネットサービス向け地図データ、 位置情報サービス・ソリューションの提供 |
| オートモーティブ 事業 | 10,396 | 9,775 | △620 | △6.0 | カーナビゲーション用データ・コンテンツ、 自動運転・先進運転支援システム向け 高精度地図データ |
| 合 計 | 39,990 | 40,210 | 220 | 0.6 | |

(注) 2023年3月期第1四半期連結会計期間より、中長期経営計画（ZGP25）における事業区分の見直しを行っており、2022年3月期第3四半期連結累計期間のマップデザイン事業については、プロダクト事業に含めて集計しております。